

Indeed、仕事探しにおける時給検索額（検索時給）の動向を調査

求職者の時給検索額、6年間で22.3%上昇し1,539円に 前年比でも+2.1%と右肩上がり。最低賃金との差は縮小も依然484円の開き

世界 No.1 求人サイト*1「Indeed（インディード）」の日本法人である Indeed Japan 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：浅野 健、<https://jp.indeed.com> 以下 Indeed）は、仕事を探す際に求職者が検索する時給（検索時給）の動向について、2025年4月時点でのデータを分析し公開します。

Indeed で求職者が仕事探しをする際、職種や雇用形態のみならず、具体的な賃金額（時給や年収）をキーワードとした仕事検索も行われています。これらの検索賃金のデータを分析することで、一般的に求職者が希望する賃金の水準がどの程度かを把握することができます。

求職者が希望する賃金額である検索賃金は、労働市場の状態をはじめ将来的な消費動向やインフレーションに対する理解、さらには最低賃金のあり方などの賃金政策に関する議論にも役立つ可能性があります。また、最低賃金と検索賃金をともに把握することで、採用企業は求職者が希望する賃金水準を理解し、適切な賃金の検討に役立てることができると考えられます。

そこでこのたび、検索賃金の中でも時給に焦点を当て、Indeed において検索されている時給額（検索時給）について分析しました。

■ 「仕事探しにおける検索時給の動向」主要ポイント

- **検索時給は平均1,539円。6年間で22.3%、昨年からは2.1%上昇**

2025年4月時点の Indeed における検索時給の加重平均値は1,539円で、2019年4月の1,258円から6年間で22.3%（281円）上昇。2024年4月の1,507円からは、2.1%（32円）上昇している。

- **最低賃金と検索時給の差は484円で、昨年より19円分縮まっている**

国が定める最低賃金の全国加重平均額は1,055円で、昨年の1,004円から51円（5.1%）上昇している。最低賃金と求職者の希望時給額を示唆する検索時給の差は484円となり、昨年の503円よりも19円分差が縮まっている。

- **検索時給は昨年同様三大都市圏が高い。検索時給の上昇額は、昨年より順位に大きく変動があるものの地方圏で大きい傾向は変わらず**

都道府県別の検索時給は、上位4位は昨年と変わらず、東京都（1,644円）、大阪府（1,599円）、北海道（1,589円）、神奈川県（1,583円）の結果。一方、昨年からの検索時給の上昇額では、上位の顔ぶれが大きく変わり、今年の上位3位は青森県（+154円）、長野県（+148円）、鳥取県（+134円）。地方圏が上位を占めるのは昨年と変わらず。

- **最低賃金と検索時給の差額が最も大きいのは北海道。半導体産業活性化の影響か**

都道府県別に最低賃金と検索時給の差額を見ると、差の大きい上位3位は北海道（579円）、熊本県（576円）、山口県（524円）。上位2道県は、半導体産業の活性化が影響しているためと考えられる。

■ Indeed Hiring Lab エコノミスト 青木 雄介 コメント

検索賃金の平均値は 2024 年 2 月から 1,500 円を超えるようになり、検索時に使われる金額の「区切り」の影響（仕事検索時は、1,500 円、1,600 円、などの区切りの良い数値が使われやすい）もあり、2024 年 2 月以前と比べると上昇率はやや落ち着いてきてはいるが、それでもインフレの継続的な影響を受け、2025 年 4 月時点でもなお検索賃金は 1,539 円と、着実に上昇し続けていることがわかります。



都道府県別に見れば、検索金額そのものが大きいのは、物価が相対的に高く労働市場での競争の激しい三大都市圏が中心です。一方で、検索賃金の上昇額は地方の方が大きい傾向にあり、昨年と比べ、上昇額の大きい都道府県の顔ぶれも変わってきています。

2025 年 4 月は、青森県や長野県、鳥取県などで検索賃金が大きく上昇しました。背景には、全国に引けを取らないインフレ率の上昇（例：[長野市](#)）や、昨年の金額が低かったことによる反動、光熱費等特定のコスト増と需要増による賃金引き上げの期待、インバウンドの増加等に伴う賃金上昇の期待などが考えられます。しかし、局所的な理由を除けば、上昇率の高い地方が時間とともに徐々に入れ替わっていく傾向を見ると、全国的なインフレの波が都市部から地方に波及していき、それに対する求職者の反応が出てきているからではないかと見えています。

■ 「仕事探しにおける検索時給の動向」詳細

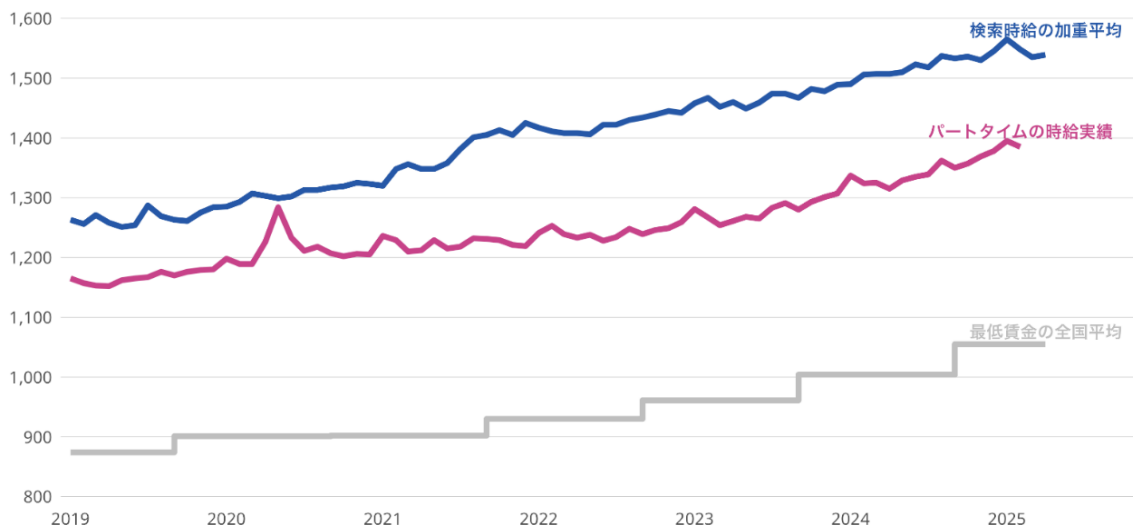
● 検索時給は平均 1,539 円。6 年間で 22.3%、昨年からは 2.1% 上昇

2025 年 4 月に Indeed 上で検索された時給（検索時給）の平均値は 1,539 円で、2019 年 4 月の 1,258 円から 6 年間で 22.3%（281 円）、昨年 4 月の 1,507 円から 2.1%（32 円）上昇していました。

労働市場における人手不足や継続的な物価高も背景に、賃上げ機運が高まっており、実際、2025 年 5 月時点のパート従業員の賃上げ額（時給）は 68 円（前年比 5.9%）^{*2} となっており、本結果からも求職者はより高い賃金を求めていることがわかります。

2030 年代半ばまでに最低賃金を 1,500 円に引き上げることを目標^{*3}に掲げていた政府は、さらに予定を前倒しにして 2020 年代の実現を目指す^{*4} としていますが、検索時給の平均値が 1,539 円に達していることから、既に求職者の希望時給額はその水準を超えていることがわかります。

時給: 検索時給の加重平均、パートタイムの時給実績、最低賃金の全国平均 (円)、
2019年1月-2025年4月



出所: Indeed・厚生労働省。



Indeed における検索時給の加重平均値、パートタイム労働者の時給実績（厚生労働省「毎月勤労統計調査」より）、[最低賃金の全国加重平均額](#)（厚生労働省）の推移。期間は 2019 年 1 月から 2025 年 4 月まで。ただしパートタイム労働者の時給実績については最新月である 2025 年 2 月まで。

● **最低賃金と検索時給の差は484円で、昨年より19円分縮まっている**

国が定める最低賃金は、2025年4月時点で全国加重平均額1,055円となり、検索時給の平均値1,539円との差は484円になります。

2024年度の最低賃金の平均引き上げ額は過去最高の51円で、前年の全国平均1,004円から5.1%上昇しています。検索時給の上昇額は32円(2.1%上昇)だったことから、最低賃金と求職者の希望時給額を示唆する検索時給の差は、昨年の503円よりも19円分縮まっています。

● **検索時給は昨年同様三大都市圏が高い。検索時給の上昇額は、昨年から順位に大きく変動があるものの地方圏で大きい傾向は変わらず**

希望する時給水準についての地域的な特徴を明らかにするために、勤務地として検索されている都道府県別に、検索時給の平均額を比較しました。

2025年(1月～4月)の検索時給平均額を見ると、高い順に東京都(1,644円)、大阪府(1,599円)、北海道(1,589円)、神奈川県(1,583円)、千葉県(1,542円)という結果でした。上位4位までは昨年と同様の結果となっており、2024年(1月～4月)において6位だった千葉県が、今年は5位となりました。昨年も今年も、検索時給の上位は三大都市圏が中心となっていますが、これは三大都市圏では、生活費の高さや企業間の人材獲得競争がより激しいことによって賃金水準が高まり、連動して高賃金を得ることを求職者が期待するためであると考えられます。

都道府県別 検索時給平均額TOP5

	都道府県名	検索時給平均額	昨年からの上昇額	昨年からの上昇率
1位	東京都	1,644円	21円	1.3%
2位	大阪府	1,599円	9円	0.6%
3位	北海道	1,589円	13円	0.8%
4位	神奈川県	1,583円	21円	1.4%
5位	千葉県	1,542円	29円	1.9%

「昨年からの上昇額」「昨年からの上昇率」は2024年1月～12月の検索時給平均額を用いて算出

続いて、検索時給平均額の上昇額を調べました。2024年(1月～12月)と2025年(1月～4月)の検索時給平均額を比べ、前年からの上昇額を都道府県別に比較しました。その結果、上昇額が大きい順に青森県(+154円)、長野県(+148円)、鳥取県(+134円)、大分県(+114円)、岩手県(+113円)となりました。最低賃金の上昇額51円を上回っていたのは、14県に上ります。昨年の上昇額上位の顔ぶれとは入れ替わっていますが、今年も昨年と同様に、地方圏が上位という結果でした。

都道府県別 検索時給平均額の上昇額TOP10

	前年からの検索時給平均額の上昇額(2025年)		前年からの検索時給平均額の上昇額(2024年)	
1位	青森県	154円	北海道	156円
2位	長野県	148円	山口県	151円
3位	鳥取県	134円	栃木県	116円
4位	大分県	114円	愛媛県	105円
5位	岩手県	113円	高知県	103円
6位	福島県	80円	茨城県	96円
7位	和歌山県	79円	秋田県	94円
8位	栃木県	75円	島根県	91円
9位	山口県	74円	岩手県	89円
10位	石川県	72円	香川県	86円

2024年の「検索時給平均額の上昇額」は、2023年1月～12月から2024年1月～12月の上昇額

● **最低賃金と検索時給の差額が最も大きいのは北海道。半導体産業活性化の影響か**

続いて、最低賃金と検索時給の差額を調べました。その結果、差が大きい順に北海道（579円）、熊本県（576円）、山口県（524円）、大分県（512円）、沖縄県（504円）となりました。また、全国平均の最低賃金と検索時給の差である484円を上回っているのは6道府県ありました。

差額が最も大きかった北海道と次に大きかった熊本県は、昨年からさらに差額が大きくなっています（北海道は昨年4位で534円、熊本県は昨年3位で542円）。北海道では半導体メーカーの半導体製造工場建設が進んでおり、熊本県では半導体製造工場建設が完了し、量産のフェーズに入り、半導体関連の物流需要への対応を目的に物流施設の建設も進むなど、新たな産業活性化の勢いがさらに増しています。最低賃金と差が開いている一因として、雇用への期待の高まりから、北海道や熊本県では高い時給への関心を牽引している可能性が考えられます。

都道府県別 最低賃金と検索時給平均額（2025年1月～4月）差額TOP10

	都道府県名	最低賃金 (2024年度)	検索時給平均額 (2025年1月～4月)	検索時給と最低賃金 の差額
1位	北海道	1,010円	1,589円	579円
2位	熊本県	952円	1,528円	576円
3位	山口県	979円	1,503円	524円
4位	大分県	954円	1,466円	512円
5位	沖縄県	952円	1,456円	504円
6位	大阪府	1,114円	1,599円	485円
7位	石川県	984円	1,465円	481円
8位	東京都	1,163円	1,644円	481円
9位	茨城県	1,005円	1,480円	475円
10位	青森県	953円	1,423円	470円

■ **調査・分析概要**

- 調査・分析主体：Indeed Japan 株式会社
- 調査・分析対象期間：2019年1月～2025年4月
- 調査・分析方法：検索時給の加重平均値の算定方法
 - 10円刻みの値を賃金帯として、賃金帯ごとに検索数および賃金検索数全体に占めるシェアを計算。
 - 各賃金帯と上記シェアの掛け合わせで算出。

※本分析では、日本で、Indeed 上で検索された賃金に関連するキーワードのうち、時間給のみの検索を分析対象としており、月給や年収の検索は分析対象外である。

*1：Comscore 2024年3月総訪問数

*2：日本労働組合総連合会「2025春季生活闘争 第5回回答集計（2025年5月2日集計、5月8日公表）

(https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/roudou/shuntou/2025/yokyu_kaito/kaito/press_no5.pdf?5758)

*3：首相官邸 総理の一日「新しい資本主義実現会議」(https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202308/31shihon.html)

*4：首相官邸 総理の一日「政労使の意見交換」(<https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202411/26seiroushi.html>)

Indeed（インディード）について

Indeed は、最も多くの方が仕事を見つけている世界 No.1 求人サイト（Comscore 2024年3月総訪問数）です。Indeed には、5億9,500万件の求職者プロフィールがあり、28言語で60か国以上の人々が Indeed で仕事を探したり、履歴書を投稿したり、企業を調べたりしています。350万以上の雇用主が Indeed を利用して新しい従業員を見つけ、採用しています。詳細は <https://jp.indeed.com> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

Indeed Japan 株式会社 広報窓口 E-mail: jp-pr@indeed.com